

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

農林課

1 施設の概要等

施設名	府中市地域産物加工販売施設		
所在地	府中市上下町矢野662番地		
設置目的	地域の林業振興と地場資源活用による地域特産物の加工販売の促進		
施設・設備	地域産物加工販売施設ほか		
指定管理者	R6.4.1	～	R11.3.31 (有)ジャパנקリーンサービス

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	2,300 人	2,467 人	901 人	167 人	107.2	%
	R5	2,467 人	3,041 人	574 人	574 人	123.2	%
	R6	2,774 人	2,339 人	-702 人	-435 人	84.3	%
	R7	2,500 人	2,582 人	243 人	82 人	103.2	%
	R8	2,500 人	人	人	人		%
増減理由	○府中市地域産物加工販売施設(そば処四季)の利用者数はイベント開催期間中の来場者数と連動しているため、イベント期間が短かった状況はあるが、案内看板やのぼりを設置することにより顧客の誘導を図った。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用アンケートを実施した。	来場者を対象にした。
	【主な意見】	【その対応状況】
	場所が分かりにくい。	のぼりや案内看板を設置して対応した。

4 市の業務点検等の状況

項目					実績	備考
報告書	年度				○	事業報告書
	月報				○	月次報告書
	日報(必要随時)				×	
管 理 運 営 会 議					【特記事項等】	
3 回 会場 市役所					・運営上で協議が必要な事項が発生した際は、随時に協議を行い解決した。	
現 地 調 査 (実 施 月)					【指定管理者の意見】	
					引続き報告と協議を実施する。	
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】	
○	○	○	○	○	施設周辺の松枯れ危険木伐採(2月)	
6月	7月	8月	9月	10月	設備の破損故障等が生じた場合は、現地調査を実施。	
○	○	○	○	○		
11月	12月					
○	○					

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	6,671	-		R4	0	-
	R5	7,013	342		R5	0	0
	R6	7,216	203		R6	0	0
	R7	7,216	0		R7	0	0
	R8				R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R6決算額	R7決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	7,216	7,216	0	
	料金収入	0	2,023	2,023	
	その他収入	2,006	0	-2,006	
	計 (A)	9,222	9,239	17	
	支出				
	人件費	6,147	4,734	-1,413	
	光熱水費	826	720	-106	
	設備等保守点検費	416	118	-298	
	清掃・警備費等	0	300	300	
	施設維持修繕費	656	0	-656	
	事務局費	620	0	-620	
	その他支出	557	2,829	2,272	
	計(B)	9,222	8,401	-521	
収支①(A-B)		0	838	538	
自主事業	収入 (C)	0	0	0	
	支出 (D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合計収支 (① + ②)		0	838	538	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	風味豊かな地元上下町産のそば粉を使用した手打ちそばであり、上下町内で愛されていた「天領そば」を復活させて、「代官そば」と並んで人気メニューとなっている。府中市内の農事組合法人等との契約栽培により原料を確保し、地元の玄そばを自前で挽き、香り高いそばを提供している。現在は、土日祝のみの営業としているが、固定客も多くお客様に好評いただいている。	・地元栽培のそば粉を利用したそばの提供も好評であり、自主事業展開が評価できる。 ・隣接する四季の里でのイベントと連携するなど、施設利用者数の増加を図ること。 ・そば処四季の営業が土日祝日しか行われていない上、木工作業室、木工作業機械を活用した事業が行われていないことから、施設が十分活用できていない。 ・民間のアイデアやノウハウを導入し、利用促進、誘客に向けた取組を検討すること。 ・引き続き、地元町内会と連携し、各種イベントを盛り上げて行くこと。 ・現場との緊密な連携を図ること。 ・報告等を速やかに行うこと。

復活

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	○営業日を増やす一つの方法として、四季の里のイベント期間を長くすることにより、集客数を増やす。 ○新規顧客を確保するためSNSなどを活用して、PRを強化する。 ○羽高湖湖畔フェスティバルなどのイベント開催時には出店して、地域特産品として「手打ちそば」の消費拡大を目指して現地でのPR活動を行う。	・地域の「営農法人」等と連携し、地域農産物を体験する(作る、食べる、販路を拡大する)事業を企画、展開すること。 ・矢野温泉公園四季の里とともに、地元上下町内の小・中・高と連携し、提案されている取組を実施すること。 ・木工作業室、木工作業機械を活用する事業の提案。 ・事業の進捗管理。 ・利用者ニーズの正確な把握。